

ジャパン・プラットフォームの倫理・行動準則

ジャパン・プラットフォームは2000年に、政府、民間、NGOの三者が人材、資金、知見などを互いに活用して三位一体で、紛争や災害時に迅速で効果的な緊急・人道支援を行うためのプラットフォームとして設立されました。私たちは日本のNGO支援を世界に広げ、すべての人が、自ら未来を切り拓く世界を築いていきます。この使命を実現するため、ジャパン・プラットフォームのすべての役職員が、以下に掲げた事項を遵守し、向上させていくことを宣言します。

●よりよい社会を実現するために活動します。

私たちは設立以来、国内外の災害並びに紛争時に緊急・人道支援を行うことを通じて、被災者・避難者の方々が安心安全を確保し、人間として最低限の健康的で文化的な生活を営むことを実現することを目指して活動してきました。このような私たちの活動は、公的な資金や、民間の団体や個人の皆さんからお寄せいただいた資金、その他多様なご支援によって支えられています。支援してくださる方々には、私たちの活動に対する強い期待があります。私たちはこれらの与えられた資金や各種の支援を有効に活用する、ということのみならず、極めて高い倫理観を持って公正に活用することで、この期待に応えていかなければなりません。私たちはこのことに強い自覚と使命感を持ちながら、「公共の使命」を「民」によって実現し、市民社会への貢献を果たしていきます。

●災害救援や緊急人道支援における国際的な行動規範を遵守します。

ジャパン・プラットフォームは「災害救援における国際赤十字・赤新月運動および非政府組織（NGOs）のための行動規範」等に基づいた活動を行います。加えて、人道支援の必須基準（CHS: Core Humanitarian Standard）、機関間常設委員会（IASC）の6つのコア基準2019（IASC Six Core principles Relating to SEA, 2019）におけるPSEAH指標（性的搾取、虐待を防止するための必須条件）を遵守していきます。

●社会のルールを守り、公正な団体活動を行います。

法令や当団体の諸規定のみならず、一般的社会規範を含む、広い社会のルールを遵守します。加えて社会から期待される自らの姿を模索し行動していきます。

●公明正大で透明性の高い団体経営を行います。

資金管理と運用の業務プロセス、および組織運営上の意思決定に際して、利益相反がない適切なガバナンス体制を厳格に堅持し、これを組織内に徹底します。また、適切で透明性の

高い団体情報の提供に努めます。

● 人を大切にし、人が育つ団体として成長していきます。

個人を尊重し、差別を排します。働きやすい職場環境を作り、職員の自覚と自発を重んじ、能力向上と自己実現を図っていきます。

2019. 7. 31

2022. 5. 20 改定